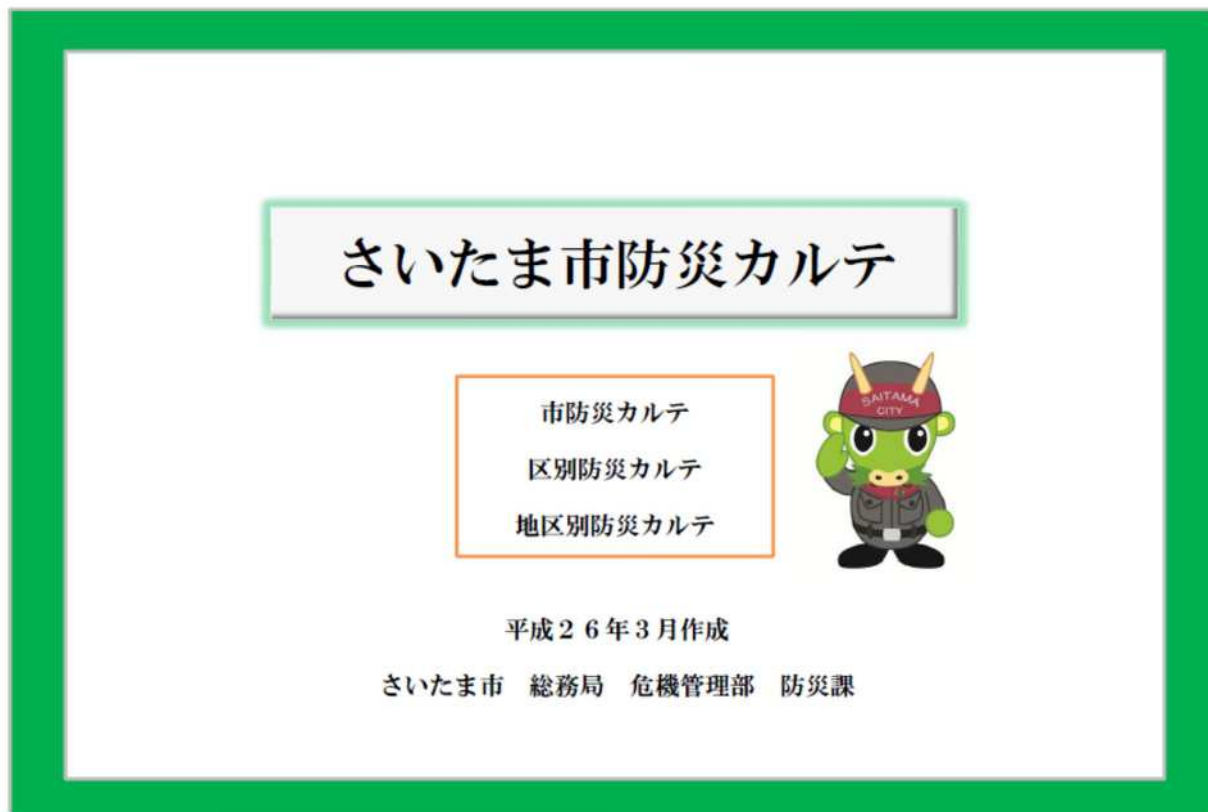
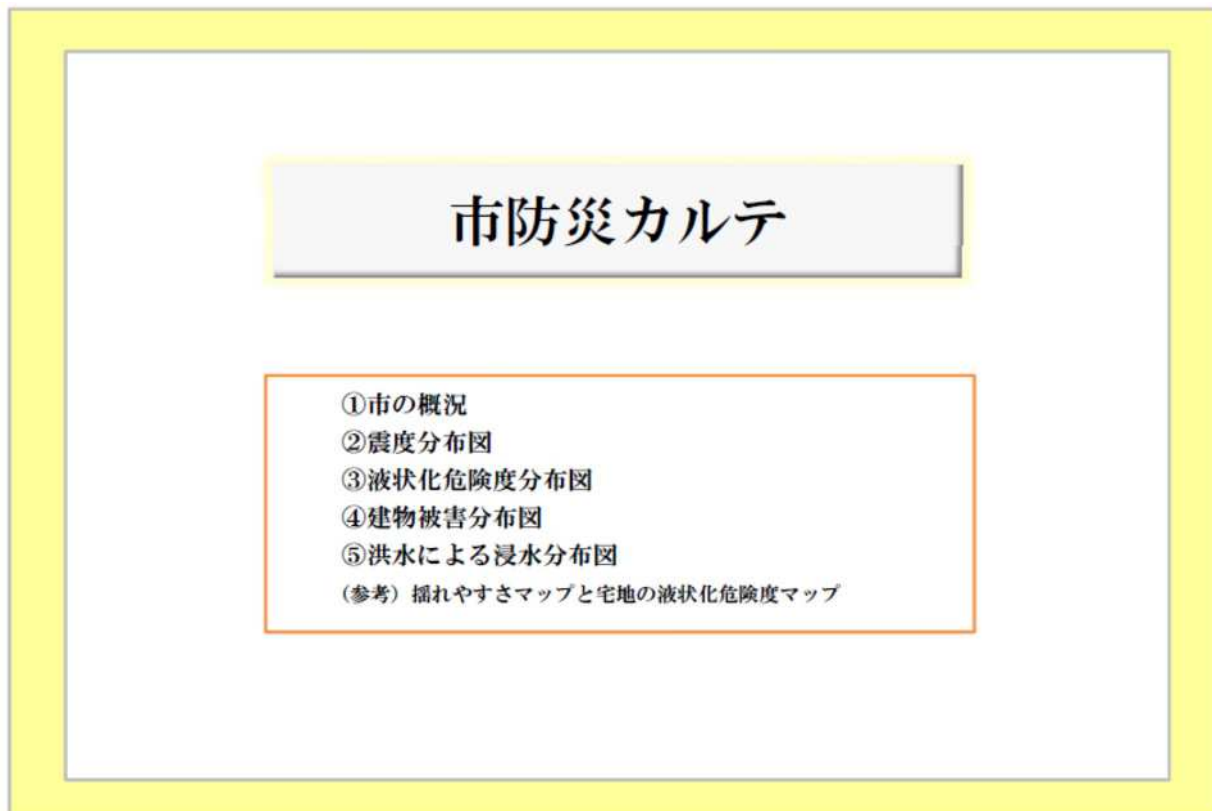


【資料2-1】さいたま市防災カルテ



防災カルテ：市版



本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ

①市の概況

◆市の概要

【位置】 関東平野のほぼ中心に位置し、面積は217.49平方キロメートル。
【地形】 河川沿いの低地と台地に区分。海拔が20mを超える地区はきわめて少ない。
【土地利用】 主要駅周辺に、商業・業務・行政・文化機能等が集結。見沼田圃や荒川河川敷に緑豊かな自然。
【交通】 新幹線・JR在来線・私鉄等の鉄道網のほか、国道・東北道・東京外環道等が整備されている。

◆全体図

凡例
 西区
 北区
 大宮区
 見沼区
 中央区
 浦和区
 南区
 緑区
 岩槻区

◆防災関連施設情報(市内施設数)

(平成26年2月時点)

避難場所	257ヶ所	消防署・出張所	25ヶ所	市役所・区役所	36ヶ所
一時避難場所	83ヶ所	警察署・交番	51ヶ所	消防・市営の港口	
広域避難場所	1ヶ所	救急病院	24ヶ所	緊急給水場所	109ヶ所

◆市内人口・建物概況

(人口：平成22年国勢調査) (建物：平成23年さいたま市都市計画基礎調査)

総人口	1,222,434人
0-14歳	168,099人 (14%)
15-64歳	819,045人 (67%)
65歳以上	235,289人 (19%)
人口密度	5,766人/km ²
世帯数	503,126世帯

◆さいたま市直下地震と荒川水害の被害想定結果

被害種別	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震
最大震度	6強 6.3	6強 6.4	6強 6.2
震小震度	6弱 5.9	5強 5.3	5強 4.9
死者	2,044人	692人	99人
負傷者	8,147人	4,622人	1,272人
全壊建物棟数	224,729棟	91,596棟	19,416棟
全壊焼損棟数	62,453棟	25,160棟	3,295棟
半壊焼損棟数	44,923棟	17,267棟	1,764棟
半壊焼損棟数	54,429棟	35,533棟	17,913棟

◆区別人口・建物概況

(人口：平成22年国勢調査) (建物：平成23年さいたま市都市計画基礎調査)

区名	人口	建物棟数
西区	84,029人	31,609棟
北区	138,630人	32,873棟
大宮区	108,488人	29,695棟
見沼区	157,143人	50,209棟
中央区	96,055人	20,619棟
南区	96,911人	24,982棟
浦和区	144,786人	33,132棟
南区	174,988人	35,850棟
緑区	110,118人	34,446棟
岩槻区	111,286人	48,768棟
市内計	1,222,434人	342,193棟

◆過去の主な災害履歴

地震
 ・関東大震災(1923年) 死傷者：216名 全壊住家：1,031棟 半壊住家：593棟
 ・その他の地震：安房江戸地震(1855年) 東京湾北部地震(1894年)
 西埼玉地震(1931年)

水害
 ・昭和22年カスリーン台風：大正・昭和を通じて最大の水害。秩父では520mm/日を観測し、さいたま市域では、水路や堤の破壊、家屋の浸水や田畑の冠水等の被害発生。
 ・昭和57年台風18号：9月10日～13日にかけて、秩父や熊谷では300mm以上の雨量を記録。

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ

②震度分布図

揺れ(震度)は地盤が軟らかいほど大きく、新層(震源)から近いほど大きくなります。

◆想定地震の位置

関東平野北西縁断層帯地震
 さいたま市直下地震
 東京湾北部地震

◆さいたま市直下地震

凡例
 震度分布
 震度7(5.0以上)
 震度6(4.0以上5.0未満)
 震度5(3.0以上4.0未満)
 震度4(2.0以上3.0未満)
 震度3(1.0以上2.0未満)
 震度2(0.1以上1.0未満)

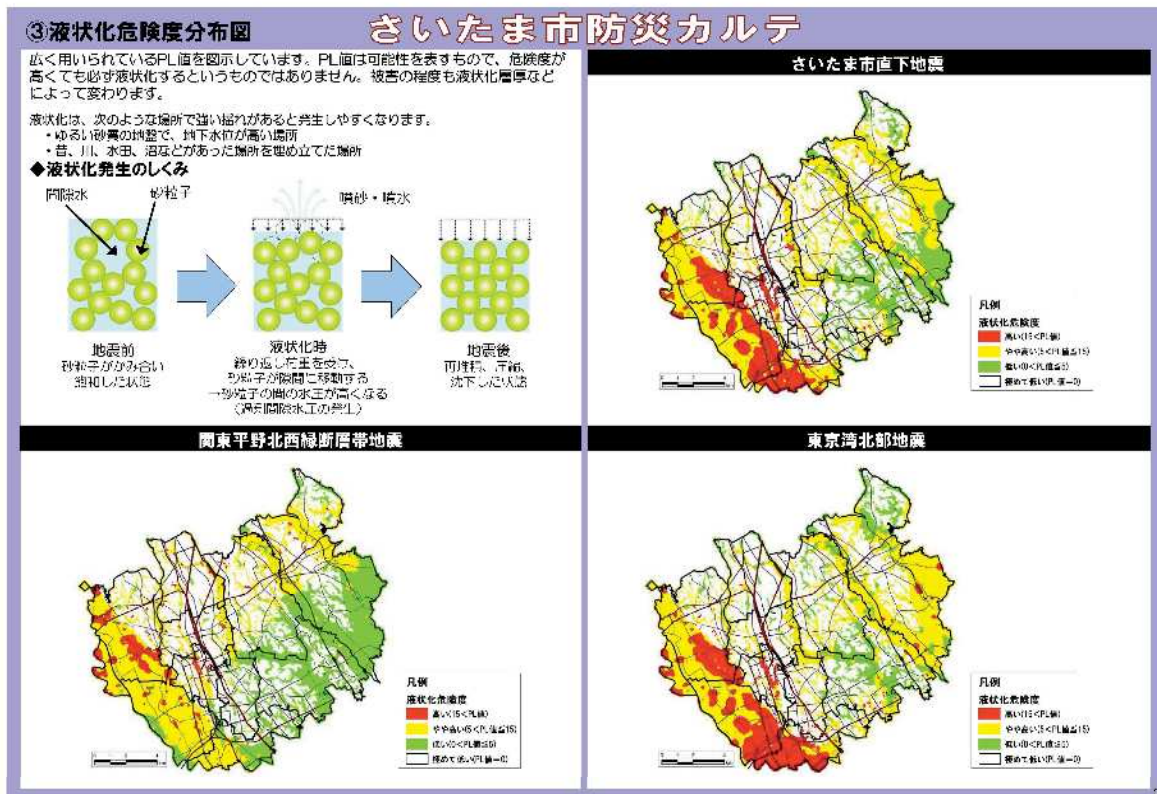
◆関東平野北西縁断層帯地震

凡例
 震度分布
 震度7(5.0以上)
 震度6(4.0以上5.0未満)
 震度5(3.0以上4.0未満)
 震度4(2.0以上3.0未満)
 震度3(1.0以上2.0未満)
 震度2(0.1以上1.0未満)

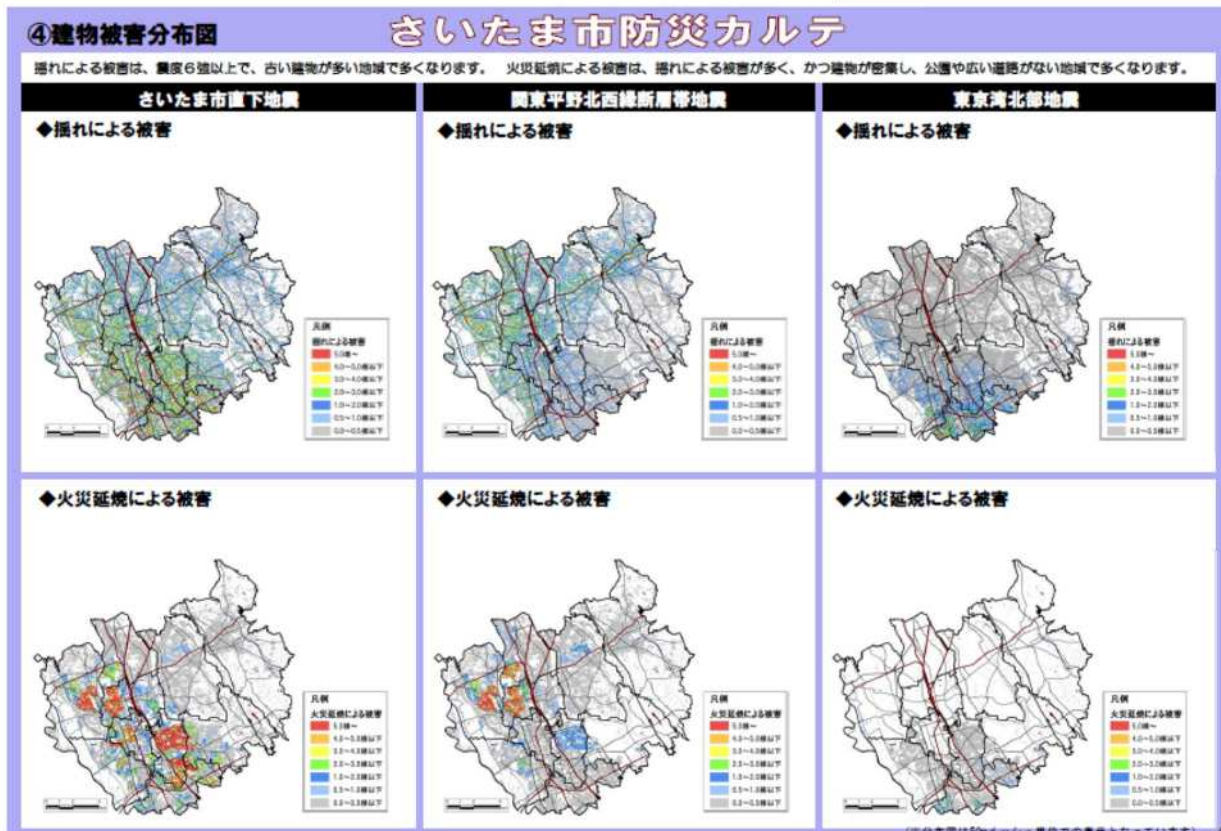
◆東京湾北部地震

凡例
 震度分布
 震度7(5.0以上)
 震度6(4.0以上5.0未満)
 震度5(3.0以上4.0未満)
 震度4(2.0以上3.0未満)
 震度3(1.0以上2.0未満)
 震度2(0.1以上1.0未満)

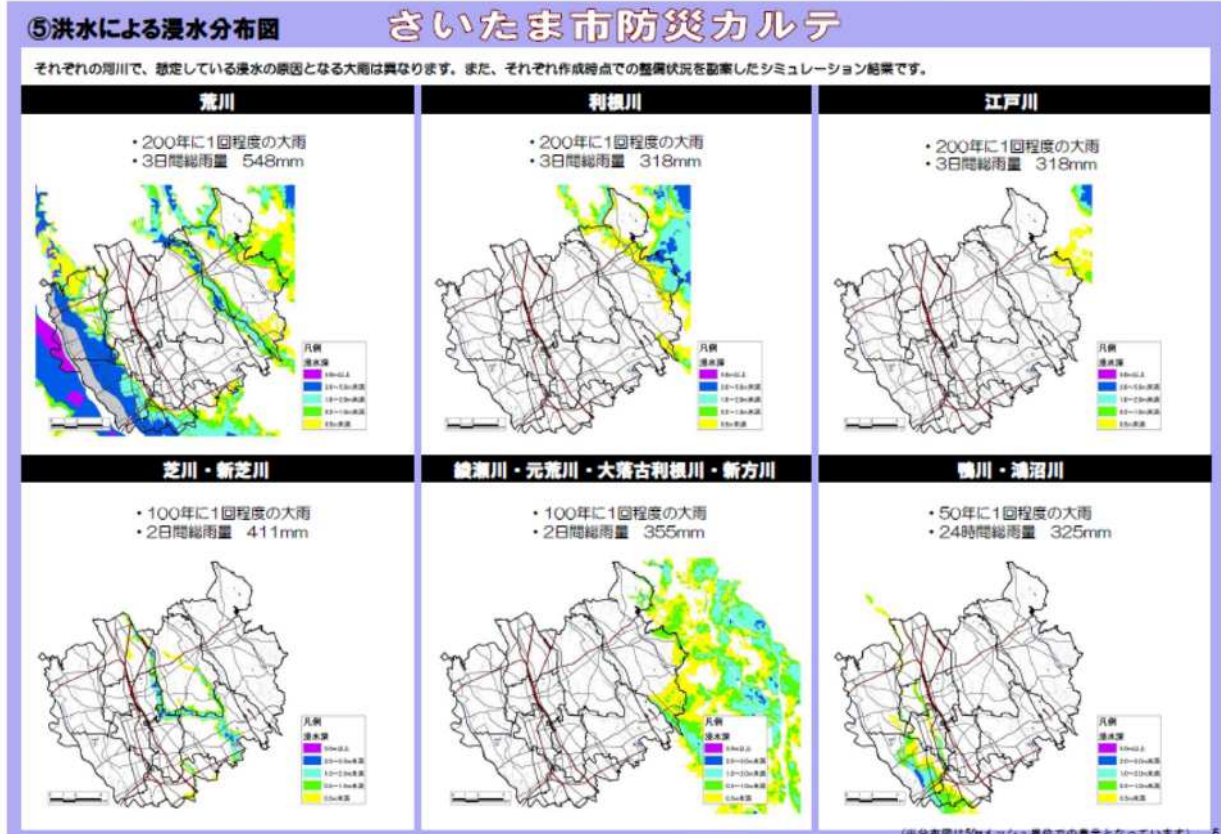
(※分布図は50mメッシュ単位での表示となっております。)



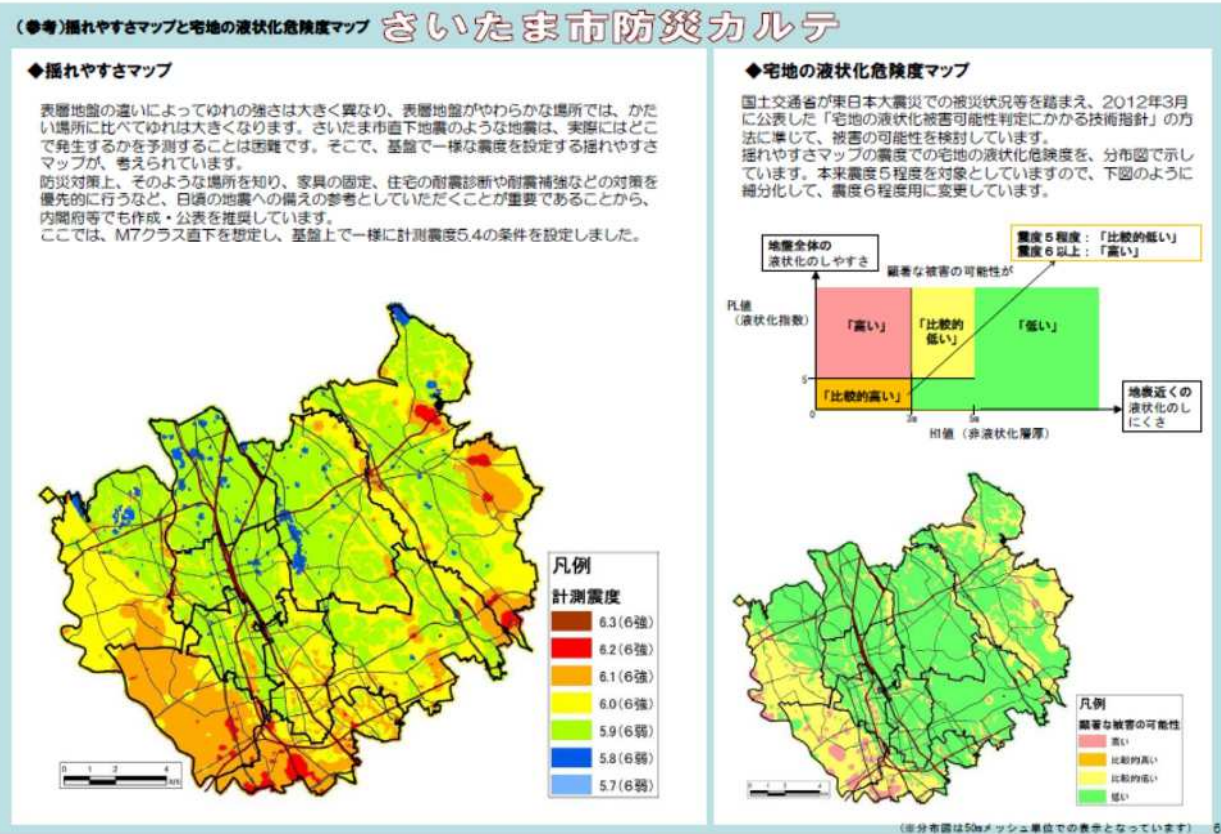
本カルテは一つの例であり、これを基に防犯上のポイントや必要な対策について、家族や地域のの方々と話し合ってみましょう。



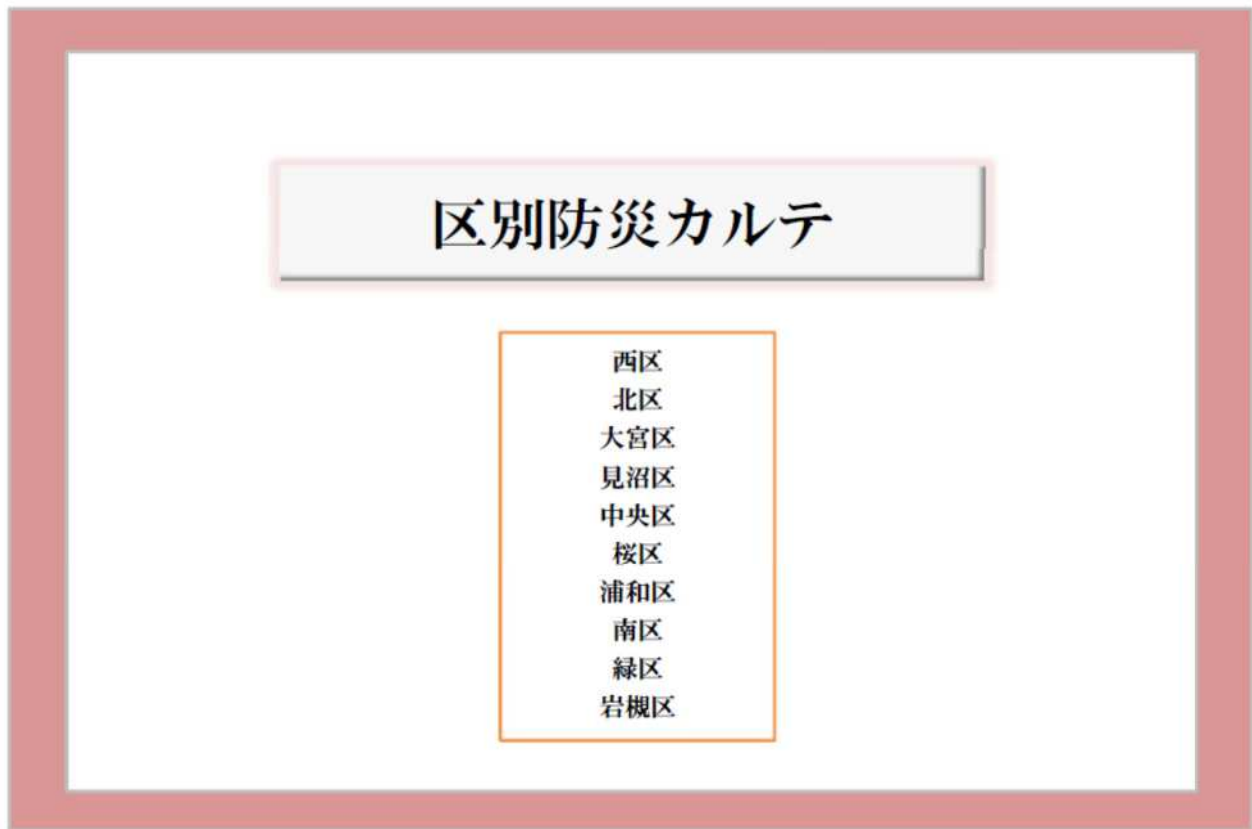
本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。



本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。



防災カルテ：区版



防災カルテ：西区版

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ

①区の概況と課題
西区

◆区の概要

【位置】さいたま市の北西に位置し、川越市と隣接。
【地形】区域の東側に荒川、西側に荒川を隔し、全域が水と緑に恵まれた地域。
【土地利用】市街化調整区域の割合が高く、JR川越線を挟んで住宅を中心とする市街地が広がる。
【交通】西大宮バイパスと新大宮バイパスが交わる宮前インターがあり、道路交通網の要衝。

◆全体図

◆防災関連施設情報(区内施設数) (平成26年2月時点)

避難場所	23ヶ所	消防署・出動所	2ヶ所	市役所・区役所	4ヶ所
一時避難場所	3ヶ所	警察署・交番	4ヶ所	消防・市民の窓口	
広域避難場所	0ヶ所	救急病院	2ヶ所	応急給水場所	10ヶ所

◆区内人口・建物概況

(人口：平成22年国勢調査) (建物：平成22年度さいたま市都市計画基礎調査)

総人口	84029人
0-14歳	11,351人 (14%)
15-64歳	53,317人 (63%)
65歳以上	19,361人 (23%)
人口密度	2,904人/km ²
世帯数	31,406世帯

◆学区別人口・建物概況

(人口：平成22年国勢調査) (建物：平成22年度さいたま市都市計画基礎調査)

学校区名	人口	建物棟数
指扇中学校区	18,183人	7,082棟
宮前中学校区	18,893人	6,646棟
土屋中学校区	18,526人	5,985棟
大宮西中学校区	15,809人	5,110棟
馬宮中学校区	14,074人	6,219棟
榑水中学校区	9,278人	4,176棟

◆さいたま市直下地震と荒川水害の被害想定結果

被害種別	指扇中学校区	宮前中学校区	土屋中学校区	大宮西中学校区	馬宮中学校区	榑水中学校区
最大震度	6強 (6.3)	6強 (6.2)	6強 (6.2)	6強 (6.3)	6強 (6.3)	6強 (6.3)
震小震度	6弱 (5.9)	6弱 (5.8)	6弱 (6.0)	6弱 (5.9)	6弱 (6.0)	6弱 (6.0)
死者(人)	21	17	23	38	36	28
負傷者(人)	195	122	172	140	209	175
避難者(人)	1,924	2,314	4,288	7,121	7,849	2,267
全壊建物棟数(棟)	600	661	1,296	2,376	2,922	909
うち倒壊棟数(棟)	172	428	845	2,102	2,246	331
半壊建物棟数(棟)	1,325	909	1,206	778	1,609	1,250
床上浸水建物棟数(棟)	2,514	347	3,934	567	4,871	3,834
床下浸水建物棟数(棟)	2,844	488	1,281	1,006	370	339

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

【耐震化】古い木造建物が多く、多くの建物被害が想定されているため、**耐震化率の向上が必要**。
 【避難者】高齢者が多く、**地域で力出した避難行動・救助活動が効果**。
 【水害】水害(荒川・荒川)の危険性が高い地区となっており、**迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による安全な避難体制の構築が効果**。
 【避難】避難者の割合が高いため、**避難施設の充実及び避難体制の確保が効果**。

01-1

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ

②さいたま市直下地震の想定
西区

震度分布図

液状化危険度分布図

建物被害分布図(揺れによる被害)

建物被害分布図(火災延焼による被害)

(※分布図は50メッシュ単位での表示となっています) 01-2

防災カルテ：北区版

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域のみなと話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ

北
北

①区の概況と課題

◆区の概要

【位置】さいたま市の北部に位置し、上尾市と隣接。

【地形】大宮台地上にあり、西部には雑川が、他に芝川や見沼代用水などが流れる。

【土地利用】区の北部に大宮総合食品卸売市場や吉野原工業団地があり、中央部から南部が農耕地で企業が多数立地。

【交通】国道16号、17号・バイパス等が整備され、JR線や東武野田線、埼玉新都市交通が走っている。

◆全体図

◆防災関連施設情報(区内施設数)

避難場所	22ヶ所	消防署・出張所	2ヶ所	市役所・区役所	3ヶ所
一府三避難所	31ヶ所	警察署・交番	5ヶ所	支所・市民の窓口	
広域避難場所	0ヶ所	救急病院	3ヶ所	防災給水場所	12ヶ所

◆区内人口・建物概況

(人口・平成22年国勢調査) (建物・平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

総人口	138,630人
0-14歳	20,175人 (15%)
15-64歳	93,861人 (68%)
65歳以上	24,594人 (18%)
人口密度	8,186人/km ²
世帯数	58,382世帯

総建物棟数	32,873棟
木造昭和46年以前	4,764棟 (14%)
木造昭和47-55年	3,976棟 (12%)
木造昭和56年以後	14,592棟 (44%)
非木造昭和46年以前	513棟 (2%)
非木造昭和47-55年	1,169棟 (4%)
非木造昭和56年以後	7,859棟 (24%)

◆学区別人口・建物概況

(人口・平成22年国勢調査) (建物・平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

学校区名	人口	建物棟数
白蓮中学校区	25,055人	5,872棟
雑竹中学校区	34,809人	7,052棟
宮原中学校区	41,807人	11,691棟
栗平中学校区	15,488人	3,789棟
土呂中学校区	32,560人	5,987棟
宮前中学校区	18,893人	6,646棟
大宮北中学校区	15,054人	4,187棟

◆さいたま市直下地震と荒川水害の被害想定結果

被害種別	さいたま市直下地震	関東平野北西断層帯地震	東京湾北北地震
最大震度	6強 (6.2)	6強 (6.4)	6強 (5.6)
最大被害	6強 (6.7)	6強 (5.8)	5強 (5.1)
死者	62人	106人	0人
負傷者	506人	682人	30人
避難者	9,062人	14,428人	169人
全壊建物棟数	2,301棟	4,040棟	8棟
うち倒壊棟数	1409棟	2,473棟	3棟
半壊建物棟数	3,975棟	4,609棟	353棟

水害	荒川	雑川	芝川	見沼川	雑川
床上浸水建物棟数	487棟	0棟	0棟	446棟	0棟
床下浸水建物棟数	765棟	0棟	0棟	1,077棟	0棟

◆さいたま市直下地震と荒川水害の被害想定結果

被害種別	日蓮中学校区	雑竹中学校区	宮原中学校区	栗平中学校区	土呂中学校区	宮前中学校区	大宮北中学校区
最大震度	6強 (6.2)	6強 (6.1)	6強 (6.0)	6強 (5.9)	6強 (6.0)	6強 (6.2)	6強 (6.0)
最大被害	6強 (5.8)	6強 (5.8)	6強 (5.7)	6強 (5.7)	6強 (5.7)	6強 (5.8)	6強 (5.8)
死者(人)	19	12	13	4	6	17	15
負傷者(人)	106	110	165	48	75	122	88
避難者(人)	4,264	1,144	1,454	482	699	2,314	999
全壊建物棟数(棟)	1,136	234	330	99	148	661	316
うち倒壊棟数(棟)	925	46	63	28	42	428	163
半壊建物棟数(棟)	800	823	1,333	383	598	909	590

水害	日蓮中学校区	雑竹中学校区	宮原中学校区	栗平中学校区	土呂中学校区	宮前中学校区	大宮北中学校区
床上浸水建物棟数(棟)	357	0	0	0	0	347	0
床下浸水建物棟数(棟)	392	0	161	0	0	488	0

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

- 【耐震化】関東平野北西断層帯地震において多くの建物被害が想定されているため、**耐震化の進捗が重要**。
- 【水害】地域に水害(荒川・芝川・雑川)の危険性が高いエリアがあり、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が重要**。
- 【避難】中学校区間で避難者のばらつきが大きいので、**避難場所の選定方法の検討が重要**。

02-1

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域のみなと話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ

北
北

②さいたま市直下地震の想定

震度分布図

液状化危険度分布図

建物被害分布図(揺れによる被害)

建物被害分布図(火災延焼による被害)

(※分布図は50mメッシュ単位での表示となっています) 02-2

防災カルテ：大宮区版

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ 大宮区

①区の概況と課題

◆区の概要

【位置】さいたま市の中央部北寄り。
【地形】ほとんどの区域が大宮台地上。東側を流れる芝川、西側を流れる種川の両辺は沖積平野。
【土地利用】区中央部に位置する大宮駅周辺は埼玉県内最大の業務地・商業地。その周辺に住宅地が分布。
【交通】新幹線・JR在来線・東武鉄道・埼玉新都市交通など、鉄道交通の要衝。

◆全体図

◆防災関連施設情報(区内施設数)

避難場所	25ヶ所	消防署・出陣所	3ヶ所	市役所・区役所	2ヶ所
一帯避難場所	10ヶ所	警備署・交番	6ヶ所	支所・市民の窓口	
広域避難場所	1ヶ所	救急病院	4ヶ所	緊急給水場	10ヶ所

◆区内人口・建物概況

(人口：平成23年国勢調査) (建物：平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

総人口	108,488人
0-14歳	12,690人 (11%)
15-64歳	72,744人 (67%)
65歳以上	23,054人 (21%)
人口密度	8,475人/km ²
世帯数	48,475世帯

総建物棟数	29,695棟
木造(昭和46年以前)	5,451棟 (18%)
木造(昭和47-55年)	2,910棟 (10%)
木造(昭和56年以後)	1,203棟 (4%)
非木造(昭和46年以前)	493棟 (2%)
非木造(昭和47-55年)	1,006棟 (3%)
非木造(昭和56年以後)	7,797棟 (26%)

◆さいたま市直下地震と荒川水害の被害想定結果

地震	大宮中学校区	三橋中学校区	桜木中学校区	大宮南中学校区	大宮東中学校区	大宮北中学校区	第二東中学校区
最大震度	6強 (6.1)	6強 (6.3)	6強 (6.3)	6強 (6.1)	6強 (6.0)	6強 (6.0)	6強 (6.1)
最大震度	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
死者(人)	75	93	59	11	11	15	10
負傷者(人)	156	220	142	89	94	88	111
避難者(人)	5,287	10,519	3,820	2,156	1,284	999	1,625
全壊建物棟数(棟)	1,672	3,524	1,162	649	399	316	473
半壊建物棟数(棟)	1,470	3,091	952	441	244	163	261
床上浸水建物棟数(棟)	690	1,171	654	683	608	590	874
床下浸水建物棟数(棟)	0	1,538	0	0	0	0	0

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

【耐震化】多くの建物被害が想定されているため、**耐震化の向上が必須**。
 【火災】火災発生危険性が高い地区となっており、延焼防止等の設置や建物の不燃化等、**延焼防止策が必須**。
 【避難】避難者の割合が高いため、**避難施設の充実及び避難体制の確保が必須**。
 【帰宅困難】大宮駅周辺において、**帰宅困難者の発生・滞留が想定される**。

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

さいたま市防災カルテ 大宮区

②さいたま市直下地震の想定

震度分布図

液状化危険度分布図

建物被害分布図(揺れによる被害)

建物被害分布図(火災延焼による被害)

(※分布図は50メッシュ単位での表示となっています。)